

## 新形式車両「5000系」導入

「人と環境に優しい車両」の設計コンセプトで、田園都市線に導入

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：上條 清文）では、2002年春に田園都市線に新形式車両「5000系」を10両1編成導入します。

「5000系」の設計コンセプトは「人と環境に優しい車両」であり、東日本旅客鉄道株式会社と東急車輛製造株式会社が共同開発した通勤形量産車両E231系を設計のベースとし、部品を共通化するなどコストダウンを実現しており、今後、当社線の標準車両として順次増備していく計画です。

具体的な特徴は、

低騒音機器の採用、機器の集約化による軽量化により、走行時の騒音を現行の田園都市線車両（8500系）よりも低減させるとともに、使用電力/二酸化炭素排出量を8500系よりも約40%削減させています。

車両の床面を8500系車両よりも下げることで、ホームと車両の乗降口の段差を縮小します。

車内の各ドアの上に15インチ液晶モニタを設置し、文字と絵により、停車駅案内や乗り換え案内を表示します。将来的には、最新の運行情報などもリアルタイムに表示する計画です。

各車両に2か所、乗務員と通話のできる非常通報装置を備えています。

車椅子スペースを設けている3、9号車では、車椅子スペース部分にも設置しています。

窓には車内環境の快適化のために、熱線吸収・紫外線カットガラスを採用しています。高効率タイプの空調機器の採用により、冷房能力を8500系より約30%増強し、混雑率・車内/車外温度・湿度・季節に応じた、きめの細かい温湿度調節を可能にしています。

車両のデザインは、東急グループが中心となり東京西南部において40年余りをかけて街づくりを進め、優れた住環境としての評価が高い「多摩田園都市」と、その動脈路線としての田園都市線のイメージに合わせて、斬新さの中にもスマートさを追求したものにしています。当社のコーポレートカラーである赤のラインを車両正面と側面の腰部に、田園都市線の路線カラーであるライトグリーンのラインを側面上部に入れ、スマートさを演出しています。

「5000系」の概要は次のとおりです。

## 「5000系」の概要

形 式	5000系
導入予定	2002年春
最大寸法	先頭車：20100mm（長さ）×2820mm（幅）×4050mm（高さ） 中間車：20000mm（長さ）×2820mm（幅）×4050mm（高さ）
定 員	先頭車：140人 中間車：151人（車椅子スペース設置車両 152人）
制御装置	I G B T - V V V F インバータ方式
補助電源装置	250KVA I G B T 静止形インバータ方式
冷房装置	52500kcal/h（61.05kW） 除湿機能付き
車内表示器	15インチ液晶方式×8台/両

以 上

